| 学校番号 | J3025 |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 学年 | 1 | 週授業コマ数 | 4 | 授業時数(45 分) | | 標準授業時数(50 分) | ○ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「伝え合う言葉　中学国語１」　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 問題中心の新文法ノート（浜島書店）、新中学問題集 発展編 国語１年（教育開発出版）<br>級別漢字（秀学社） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

水都国際中学校は、皆さんが世界を相手に活躍できるようになることを期待しています。
そこで皆さんには、国語の授業を大切にし、多面的なものの見方や考え方ができるようになってほしいと願っています。文章を読み本文の要旨をつかんだうえで、それに対する意見や考えを持ち、他者に伝えられるようになりましょう。同時に、他者と意見共有する中で自身の考えをより豊かなものにしていく力を身につけましょう。
自分の考えや視野を広げ、グローバルに活躍できることを楽しみにしています。

## 2　学習の到達目標

（１）社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。
（２）筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようになる。
（３）言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を身につける。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・漢字や語彙の量を増やし、適切に話や文章の中で使用している。<br>・話や文章に含まれる原因と結果、意見と根拠など、情報を整理し、理解している。<br>・古典を読むために必要なきまりや訓読の仕方を身につけ、古典の世界に親しんでいる。 | ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。<br>・「書くこと」において、表記や語句の用法、叙述の仕方など確かめて文章を整えている。<br>・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 | ・詩を創作したり、文章を書いたりするなど、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。<br>・自らの学習状況を把握し、学習の進め方を考え、自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動
※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度
※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 本文から情景をつかむ<br>［教材］<br>ふしぎ<br>桜蝶 | ａ：事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。<br>ｂ［読］：場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。<br>ｃ：詩を創作したり文章を書いたりするなど、感じたことや考えたことを書いて伝え合おうとしている。 | 定期テスト | 詩の創作 | 詩の創作 |
| | 文章の構成を理解する<br>［教材］<br>自分の脳を知っていますか<br>内容を整理して説明する | ａ：原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。<br>ｂ［読］：文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。<br>ｃ：説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめようとしている。 | 定期テスト | スライド作成 | プレゼンテーション |
| | 文章の要旨を理解し、伝える<br>［教材］<br>全ては編集されている<br>材料を整理して案内文を書く | ａ：比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。<br>ｂ［書］：目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。<br>ｃ：すすんで図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことを報告したり資料にまとめようとしている。 | 定期テスト | 案内文書作成 | グループ共有<br>ワークシート |
| 2学期 | 持続可能な社会実現に向けて課題を発見する。<br>［教材］<br>「エシカル」に生きよう<br>森には魔法使いがいる<br>根拠を明確にして意見文を書く | ａ：比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。<br>ｂ［書］：目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。<br>ｃ：本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことをすすんで伝えようとしている。 | 定期テスト | 意見文作成<br>スライド作成 | プレゼンテーション |
| | 古典に親しむ<br>［教材］<br>箱に入った桃太郎<br>竹取物語<br>古事成語 | ａ：音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。<br>ｂ［読］：場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。<br>ｃ：繰り返し音読するなど古典に独特なリズムを理解し、古典世界に親しもうとしている。 | 音読 | ワークシート | 音読<br>ワークシート |
| | 出来事の展開、構成や表現の特徴について考える | ａ：事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うこととともに、擬声語・擬態語への理解を深め | 定期テスト | 随筆作成 | 随筆作成<br>ワークシート |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ［教材］<br>オツベルと象<br>随筆を書く | ることをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。<br>ｂ［読］：文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。<br>ｃ：自分の文章の良い点や改善点を見出しながら考えたことを随筆としてすすんで書こうとしている。 | | | |
| | 自分の視点や考え方を広くする<br>［教材］<br>言葉がつなぐ世界遺産<br>読み手を意識して話し合う<br>漫画で「物語」を表現する | ａ：原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。<br>ｂ［話・聞］　相手の反応を踏まえながら，自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。<br>ｃ：粘り強く理解したことに基づいて考えを確かものにし、文章を読んで考えたことを記録しようとしている。 | 定期テスト | グループワーク<br>漫画作成 | グループワーク |
| ３学期 | 心情や行動の意味を理解し、作品の主題を捉える<br>［教材］<br>少年の日の思い出 | ａ：事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き、語彙を豊かにしている。<br>ｂ［読］：場面の展開や登場人物の相互関係（語りと構成について）または心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。<br>ｃ：粘り強く登場人物の心情変化などについて捉えるとともに、見通しをもって小説を読んで考えたことを伝えようとしている。 | 定期テスト | 定期テスト | ワークシート<br>グループワーク |

※年間の各領域時間数

| | 話すこと／聞くことに関する指導 | 書くことに関する指導 | 書写の指導 |
|---|---|---|---|
| 第１学年 | （　25　）時間 | （　40　）時間 | （　20　）時間 |
| 第２学年 | （　　）時間 | （　　）時間 | （　　）時間 |
| 第３学年 | （　　）時間 | （　　）時間 | （　　）時間 |